

グラビオ羽目板V/グラビオ羽目板R

施工方法

床材

床暖房

壁材・
腰壁天井材・
軒天井材耐震ボード・
下地材換気・
火災警報器防音建材・
音響製品

施工上の禁止事項

- 浴室や高湿条件の場所、キッチンパネルには使用しないでください。
- コンクリートやモルタル、ALCへの直張りはできません。
- 水漏れ、結露等がある下地、カウンター、出窓、窓枠、には施工しないでください。
- 内装用化粧材です。床や屋外には使用しないでください。

施工上のご注意

- 表面にすり傷等がつきますと目立ちます。両面テープ貼り付け、接着剤塗布時、加工時には下に保護材(ダンボール等)を敷いて表面保護を行ってください。又、穴あけ、切断加工時にも粘着力の弱い養生テープ等で表面保護をお願いします。粘着力が強い養生テープを用いると表面に傷が付く場合があります。
- 玄関土間等の床面が濡れるおそれがある場所へ施工する場合には、たたきから50mm以上あげ、水が直接触れないように施工してください。

保管・取扱時の注意事項



注意

- 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 野積み、または、立てかけて放置しないでください。変形するおそれがあります。
- 直射日光や水ぬれのない平坦な屋内で、平積みで保管してください。
- 開梱後、長時間放置すると変形のおそれがありますのですみやかに施工してください。
- 手で運ぶ際は、製品が曲がらないように、立てて運んでください。曲がり過ぎると、破損のおそれがあります。
- 取扱いの際は、周囲に接触しないように注意してください。破損のおそれがあります。
- 直接ロープ等をかけて取り扱わないでください。破損のおそれがあります。
- 実部分は、特に注意して取り扱ってください。破損のおそれがあります。

下地の施工

- 下地の間柱は455mmを基本とし、必ず捨て張り材を施工してください。
- 捨て張り材は、厚さ9mm以上の合板、または厚さ9.5mm以上の石膏ボードを使用してください。
- 捨て張り材の継目は段差のできないように必ず受け桟を入れ、平滑に仕上げてください。
- 捨て張り材と本製品の継目は重ならないようにしてください。
- 本製品の取付け前に必ず、水平・垂直の墨出しを行い、割り付けをしてください。

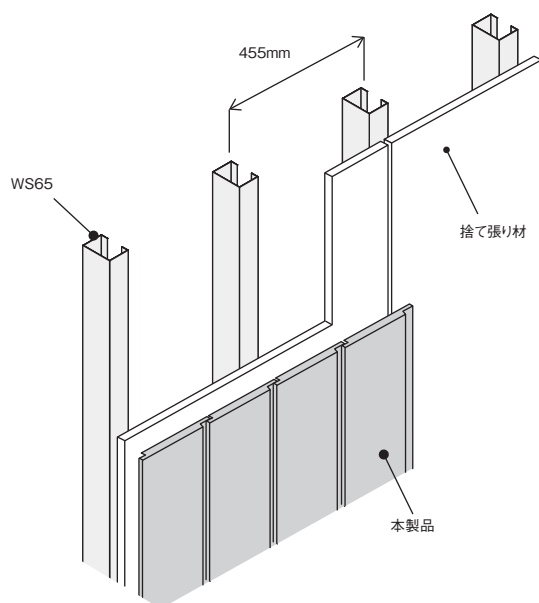


注意

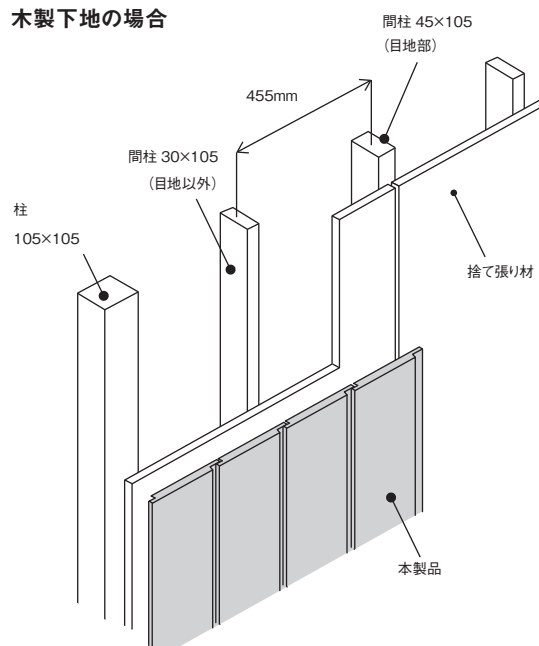
- 誤った取扱いにより傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

- 捨て張り材に段差があると接着不良の原因となり、本製品が脱落の原因になりますので、必ず平滑に仕上げてください。
- 必ず捨て張りを行ってください。間柱や胴縁、コンクリート系下地への施工は、施工後の表面異常など、不具合の原因となります。
- 下地は、内部へ外気が流入するような構造にしないでください。下地や本製品に結露などの不具合が発生する原因となります。
- 下地に雨漏り、水漏れ、結露などがある際は、本製品に不具合が発生する原因となりますので施工しないでください。

鋼製下地の場合



木製下地の場合



グラビオ羽目板V/グラビオ羽目板R

施工方法

施工手順(天井施工・壁施工共通)

①清掃と割付け

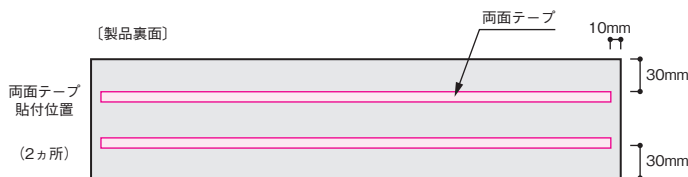
- 下地の凹凸をなくし、下地や本製品をきれいに掃除します。
- 下地に墨出しをして、割付けます。
- 縦継ぎする場合はレンガ張り、または乱張りとしてください。
- 壁施工の場合、縦張り、横張りどちらでも施工できます。
- 施工前に仮並べし、全体のバランスを見ながら施工してください。



- 表面保護のため、作業場所には段ボール等を敷いて養生をおこなってください。
- 墨出し・割付けの際は、水平・垂直に十分注意してください。

②両面テープの貼り付け

- 本製品裏面の所定位置に両面テープをしっかりと貼り付けます。

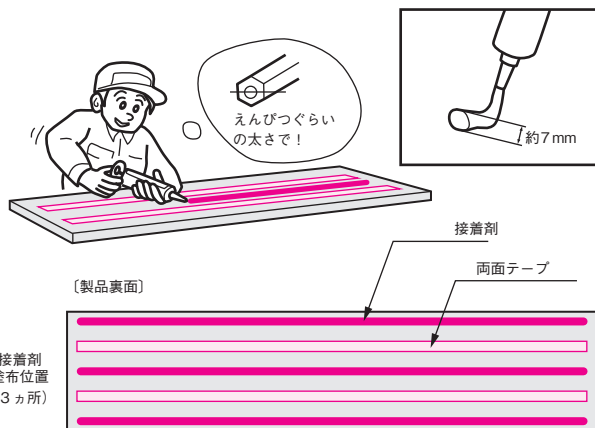


スピーデル工法用テープ

※標準使用量 (1枚当り) 長さ2,730mmあたり 約0.6巻

③接着剤の塗布

- 本製品裏面の所定位置に接着剤を塗布します。



スピーデル工法用接着剤

※標準使用量 (1枚当り) 長さ2,730mmあたり 約0.5本



- 部屋の形状、施工部位によっては両面テープ、接着剤の塗布は、下地側に行った方がよい場合があります。
- 接着剤の使用上の注意事項を守って安全に作業してください。
- 接着剤は、標準使用量を参考に、直線状に塗布してください。
- 塗布量が少ないと製品が脱落する可能性があります。
- テープの端から接着剤の端までの距離は20mmとし、本製品圧着時に接着剤が両面テープの上につかないように注意して塗布してください。

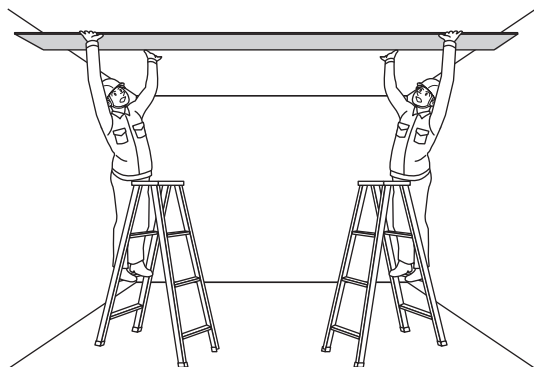
④両面テープ離型紙の除去

- 両面テープ表面の離型紙は確実に取り除いてください。

⑤位置あわせ



- 本製品の両端と中央を持ち、両面テープが下地に貼りつかないように注意して施工してください。
- 施工を1人でおこなう場合は本製品を適切な大きさにカットして施工してください。

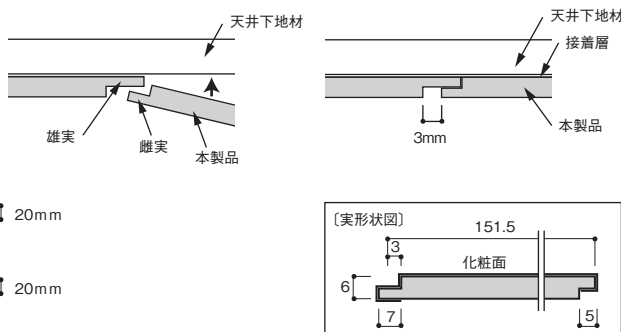


【長辺方向の納め方】

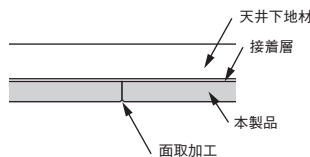
- 本製品の長辺側は3mm目地になるように「あいじゃくり」実形状になっています。
- 本製品の実には若干の調整代を設けています。適宜、位置を確認し、送り量を調整してください。



- 施工はセンター割付をおこない、壁際から施工を開始してください。
- 本製品をカットする場合は雌実側をカットし、雄実に雌実を合わせる順序で施工してください。
- 実部分はうすいため、破損しやすくなっています。特に取扱いには注意してください。



【短辺方向の納め方】



- 本製品の短辺は面取加工(0.3C)をしています。軽くつきつけてください。本製品は「レンガ張り」または「乱張り」としてください。

⑥固定

- 本製品を貼り付けるときは、両面テープの位置をしっかりと押さえてください。
- 接着剤が硬化するまでに約24時間必要です。その間は、衝撃や振動で施工したパネルがずれたり、脱落するおそれがあるので、ご注意ください。

⑦各部の納まり

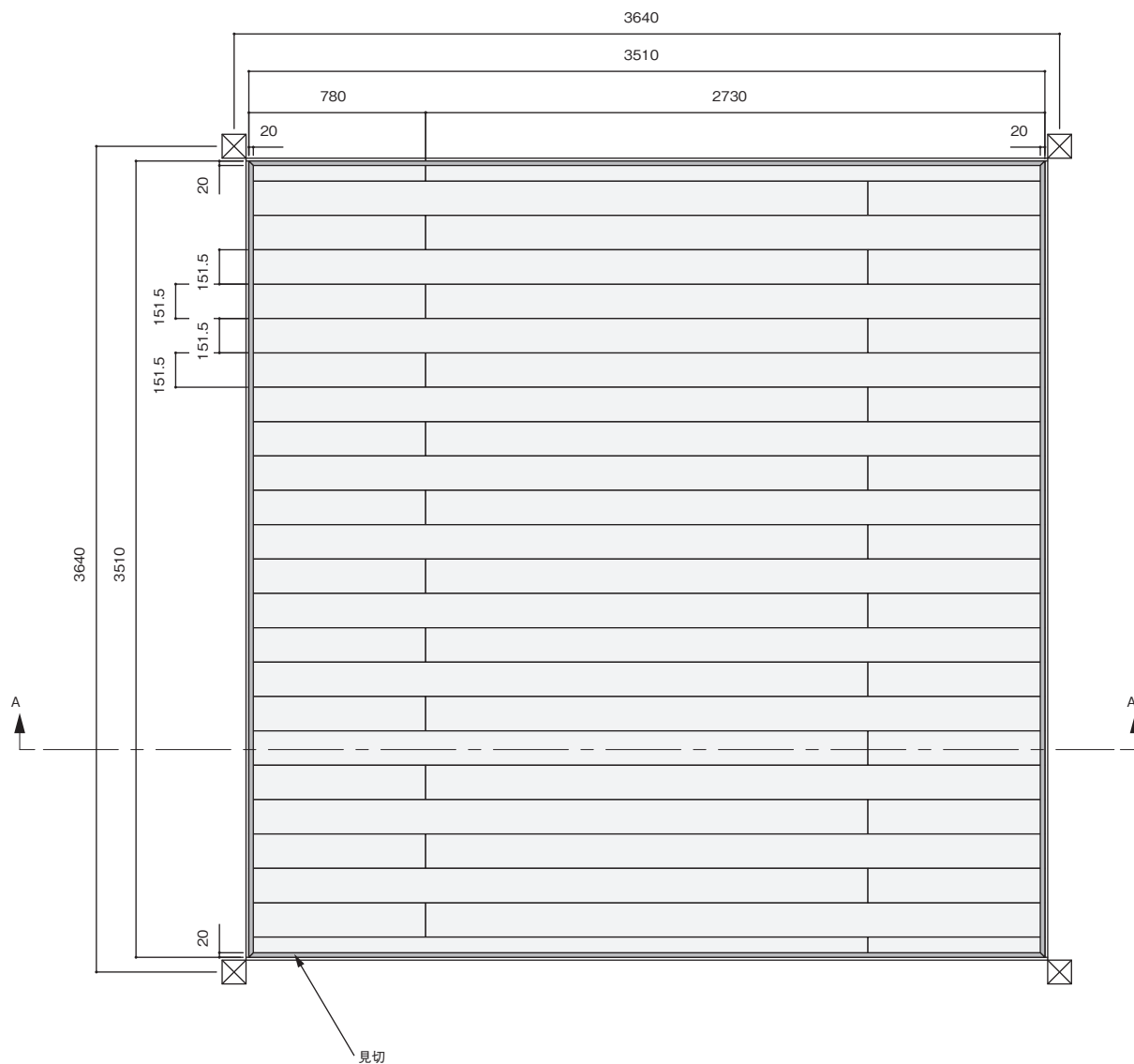
- グラビオUB(P.77)を参照してください。



●木質(MDF)部材は、不燃材料ではありません。

※接着剤(木工用ボンドまたは、スピーデル工法用接着剤)とフィニッシュネイル(300mmピッチ以下)を併用してください。

[天井面割付(8帖間の場合)]



A-A断面図

